

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島国際学院大学
設置者名	学校法人広島国際学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単 位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専 門 科 目	合 計		
工学部	生産工学科	夜間 通信	6		8	14	13	
情報文化学部	情報デザイン学科	夜間 通信			10	16	13	
	現代社会学科	夜間 通信			8	14	13	
(備考) 令和2年度から全学部全学科の学生募集を停止したため、従前の教育課程に基づき記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://office.hkg.ac.jp/~kyoumu/2022/jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島国際学院大学
設置者名	学校法人広島国際学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.hkg.ac.jp/f/about/board.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社会長	令和元年12月26日 ～令和5年12月15日	企画・調整、経営相談
非常勤	弁護士	令和元年12月16日 ～令和5年12月15日	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島国際学院大学
設置者名	学校法人広島国際学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
◇	これまで授業計画(シラバス)作成に当たり、修正等が必要な場合は、「授業計画ガイドライン」に沿って作成システムに入力し、その後に第三者によるチェックを実施した。
◇	また、次年度時間割作成に並行し、授業計画(シラバス)の作成を行い、3月末までにHPにより公表した。
◇	令和2年度からは、全学部全学科の学生募集を停止したため、在学生の入学年次のシラバスを公表するとともに、シラバスに変更等があった科目について公表している。
授業計画書の公表方法	http://office.hkg.ac.jp/modules/pukiwiki/39.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
◇	成績評価の方法等、授業計画(シラバス)に明記している。 ・期末試験、小テスト、課題(レポート)提出、授業への取り組み状況など、いくつかの方法を組み合わせ評価を実施 ・その評価項目の割合を明記
◇	試験の成績は「S、A、B、C及びD」の5段階評価とし、「S、A、B及びC」を合格とする。
◇	あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に学位授与を実施している。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◇ 受講した科目の成績評価を総合したGPA(平均評価点)により測定している。 (GPは成績評価に応じて付与されたポイント(S-4、A-3、B-2、C-1、D-0)で、履修登録した科目の単位数に当該GPを乗じ、その総和を履修登録した科目の単位数の合計で除した数値)</p> <p>◇ 奨学制度の判定基準や退学勧告などに利用されます。</p> <p><参考> 学生便覧 広島国際学院大学 履修、試験及び成績に関する規程</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://office.hkg.ac.jp/~kyoumu/2019/binran1.pdf (学生便覧 26頁が該当)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◇ 学部(学科)ごとにディプロマポリシーを策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工学部 地域産業の振興と国際化に対応できる基礎学力と人間力を備えた職業人として、社会に貢献できる者に学位を授与する。 ・情報文化学部 情報コミュニケーション技術の利活用や「リサーチマインド」の実践により地域社会、地域文化の発展や活性化、問題解決に貢献できる者に学位を授与する。 <p>◇ 学科ごと、科目群ごとに必要取得単位数を定めるとともに、卒業要件として、124単位以上を取得することを定めている。</p> <p>◇ 定められた基準に基づき卒業認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.hkg.ac.jp/html/about/3policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島国際学院大学
設置者名	学校法人広島国際学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://office.hkg.ac.jp/~soumu/koukai/zaimu/R3_bs.pdf
収支計算書又は 損益計算書	http://office.hkg.ac.jp/~soumu/koukai/zaimu/R3_shikin.pdf
財産目録	http://office.hkg.ac.jp/~soumu/koukai/zaimu/R3_mokuroku.pdf
事業報告書	http://office.hkg.ac.jp/~soumu/koukai/jigyou-houkoku/R3_houkoku.pdf
監事による監査 報告(書)	http://office.hkg.ac.jp/~soumu/koukai/zaimu/R3_kansa_01.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://office.hkg.ac.jp/~jimu/data2/jikotenken/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.hkg.ac.jp/html/eng/)
(概要) 文系・理系に関係なく、「ものづくり」に必要な学力を基礎から構築することで、どんなフィールドにおいても柔軟に活躍できる「応用力」の素地固めを目指します。資格取得はもちろん、コミュニケーション・プレゼンテーション能力も身につけて、より実践的な技術者を育てます。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.hkg.ac.jp/html/about/3policy.html)
(概要) 地域産業の振興と国際化に対応できる基礎学力と人間力を備えた職業人として、社会に貢献することができる者に学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.hkg.ac.jp/html/about/3policy.html)
(概要) 本大学の教育理念である「信和、協同、実践」を基本としながら、産業・教育・行政などの分野で社会に貢献できる実践的な技術者の育成と、個性を尊重し、創造性に満ち、高度な知識と技術を身につけ、社会の複雑な変化に対応できる人材を育成できる教育課程プログラムを整備する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 :)
(概要) 全学部全学科の学生募集を停止したため、入学者の受け入れに関する方針は廃止する。

学部等名 情報文化学部
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.hkg.ac.jp/html/ids/)
(概要) <p>情報が瞬時に飛び交う現代社会においては、自ら問題を発見し、情報を収集・分析・発信する力が求められています。本学部では具体的な IT コミュニケーションや様々な社会的課題について学びながら、社会を元気にするための方法を考えます。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.hkg.ac.jp/html/about/3policy.html)
(概要) <p>情報コミュニケーション技術の利活用や「リサーチマインド」の実践により地域社会、地域文化の発展や活性化、問題解決に貢献できる者に学位を授与する。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.hkg.ac.jp/html/about/3policy.html)
(概要) <p>社会で必要とされる情報スキルを持ち、現代を生き抜くために必要な情報の収集力・分析力・デザイン力・発信力及びコミュニケーション力・共感力を身につけることで、地域社会と情報文化の発展に寄与する人材及び、コンテンツ産業に寄与できる人材、産業の育成や多様な人々との共生・協働という観点から地域社会を支える人材を育成するための教育プログラムを整備する。</p>
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 :)
(概要) <p>全学部全学科の学生募集を停止したため、入学者の受け入れに関する方針は廃止する。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : http://www.hkg.ac.jp/f/about/organization.html
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
工学部	—	9人	6人	0人	0人	0人	15人
情報文化学部	—	4人	1人	6人	0人	0人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				26人			26人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://office.hkg.ac.jp/~jimu/data2/koukai/t-list.htm					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	0人	0人	0%	90人	67人	74.4%	—人	0人
情報文化学部	0人	0人	0%	160人	139人	86.8%	—人	0人
合計	0人	0人	0%	250人	206人	82.4%	—人	0人
(備考) 令和2年度以降、全学部全学科で学生募集を停止した。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	52人 (100%)	1人 (1.9%)	41人 (78.8%)	10人 (19.2%)
情報文化学部	114人 (100%)	0人 (0%)	85人 (74.6%)	29人 (25.4%)
合計	166人 (100%)	1人 (0.6%)	126人 (75.9%)	39人 (23.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：鳴門教育大学大学院				
就職先：(株)アスカネット、(株)アビスト、ゲンキー(株)、(株)ソルコム、ドリームベッド(株)、(株)ドン・キホーテ、広島アルミニウム工業(株)、福山通運(株)、(株)フジ、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)、(株)ブランジスタ、マックスバリュ西日本(株)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
情報文化学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
◇ これまで授業計画（シラバス）作成に当たり、修正等が必要な場合は、「授業計画ガイドライン」に沿って作成システムに入力し、その後に第三者によるチェックを実施した。
◇ 令和2年度からは、全学部全学科の学生募集を停止したため、在学生の入学年次のシラバスを公表するとともに、シラバスの変更等があった科目について公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
◇ 学部（学科）ごとにディプロマポリシーを策定				
◇ 学科ごと、科目群ごとに必要取得単位数を定めるとともに、卒業要件として、124 単位以上を取得することを定めている。				
◇ 定められた基準に基づき卒業認定を行う。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	生産工学科	124 単位	有・無	48 単位
情報文化学部	情報デザイン学科	124 単位	有・無	48 単位
	現代社会学科	124 単位	有・無	48 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.hkg.ac.jp/html/about/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
工学部	生産工学科	1,100,000円	0円	200,000円	その他は施設設備資金 入学金は募集停止の為、未徴収
情報文化 学部	情報デザイン学科	900,000円	0円	200,000円	その他は施設設備資金 入学金は募集停止の為、未徴収
	現代社会学科	800,000円	0円	160,000円	その他は施設設備資金 入学金は募集停止の為、未徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) ◇ チューター制を設けており、履修モデルにより履修指導を行っている。また、学期ごとにチューターから学生に直接成績表を渡すこととしており、その際に学修指導を行っている。令和元年度からは、学生一人ひとりの学修成績等を取りまとめ、学生の進路希望も確認しながら、個別面談・指導を行っている。 ◇ 各種資格の取得のため、授業や課外において試験対策を講じている。 ◇ 学業優秀者や経済的理由による修学困難な学生等に対し、授業料の減免や猶予を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) ◇ 就職活動を開始するに当たり、3年次において、キャリアデザインの形成やインターンシップに関する授業科目を開講するとともに、年間5回の就職ガイダンスでは、内定者体験談や、SPI 対策講座、ビジネスマナー講座、就活開始直前ゼミナーなどを対面、オンラインにより実施している。 ◇ 学生の就活支援は、各学科から選出した教員で構成する就職委員会において、学生の就活状況を情報共有し、大学全体で取り組んでいる。また、学内において企業説明会を実施、就職情報コーナーの充実、就職課及びジョブサポーターなどによる就職支援体制を整備し、学生個々の状況に応じた支援を行っている。 ◇ 進学については、指導教員が中心となって個別に対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) ◇ 学生一人ひとりとの個別面談などを通じて把握した、学生に関する情報をもとに、心理カウンセラーによる学生相談や保健職員による健康相談を実施している。 ◇ さらに学生の状況に応じて、チューター、授業担当教員、学部・学科、事務部(学生支援課、学生相談室、保健室)が連携し、早期に情報を共有しながら、修学や大学生活上の相談・支援を行っている。 ◇ 全学的な組織において、学長、学部・学科、事務部の関係者が、現状分析や課題・対応策などについて協議している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : http://office.hkg.ac.jp/modules/pukiwiki/38.html
--